



## 2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月13日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3501 URL https://suminoe.co.jp/  
 代表者(役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室部長 (氏名) 薄木 宏明 (TEL) 06-6251-6803  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	15,555	△32.5	△743	—	△825	—	△1,143	—
2020年5月期第1四半期	23,031	△0.1	291	36.4	271	4.8	△46	—

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 △943百万円(—%) 2020年5月期第1四半期 35百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年5月期第1四半期	円 銭 △181.34	円 銭 —
2020年5月期第1四半期	△6.80	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	83,319	31,532	32.3
2020年5月期	86,272	32,582	32.5

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 26,913百万円 2020年5月期 27,998百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	35.00	—	15.00	50.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年5月期の配当予想は未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

2021年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年5月期1Q	7,682,162株	2020年5月期	7,682,162株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	1,373,465株	2020年5月期	1,373,422株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年5月期1Q	6,308,719株	2020年5月期1Q	6,820,116株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予測値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(追加情報)	P. 11
(セグメント情報)	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から企業業績が悪化し、一般消費は回復の動きが見られるものの、経済活動全体としては依然として低水準が続きました。世界経済においても感染拡大の収束目途が立たず厳しい状況となりました。

当社事業に関連のあるインテリア業界において、国内の新設住宅着工戸数は前年同期比11.1%減、非住宅分野でも着工床面積が前年同期比19.1%減と大きく下回りました。また、自動車業界において、国内市場の生産台数は前年同期比25.2%減となりました。海外市場でも生産・販売が滞り、前年同期を下回りました。

このような事業環境において、当社グループは、従業員が安心・安全に働ける環境の整備を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底しつつ、ESG経営を念頭に「事業の成長」と「企業ガバナンスの再構築」を推進しております。

インテリア事業では、ホテルや商業施設、オフィス、一般家庭向けの需要を積極的に取り込むと同時に、高付加価値商材への選択と集中を進め、利益確保に努めております。また、抗菌・抗ウイルス加工技術「CLEANSE®/クレンゼ®」を施した製品や、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS® (エコス)」といった、健康に配慮し、環境にやさしい製品の拡販に努めております。

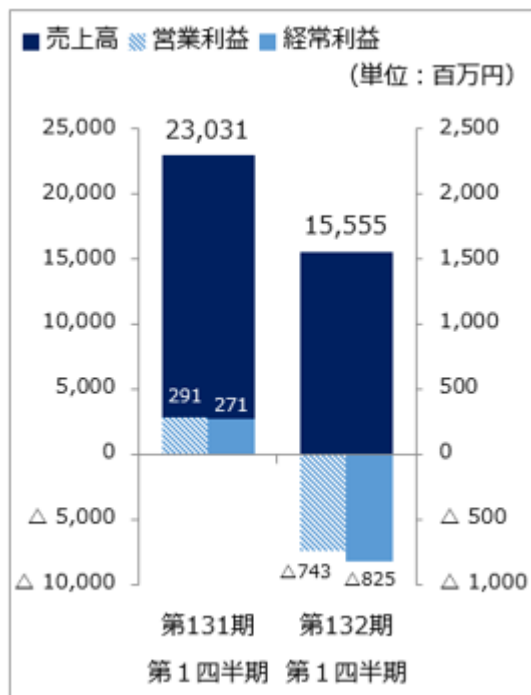
自動車・車両内装事業では、自動車関連は、合成皮革などの非繊維商材の技術開発と受注拡大に取り組むとともに、原材料調達およびグローバル車種の生産地の最適化による原価低減を進めております。車両関連は、鉄道・バス向けの高機能なファブリック素材の製造販売や、シートクッション材・安全対策商材の拡販に努めております。自動車関連、車両関連ともに、インテリア事業で培ってきた抗菌・抗ウイルス等の加工技術を活かし製品開発に取り組んでおります。

機能資材事業では、2019年に繊維系電気暖房商材の新たな生産・販売拠点をベトナムに設立しました。地域リスクを分散し、最適な供給体制を構築中です。また、消臭・抗菌・抗ウイルス・抗アレルギー機能を持つ当社独自の複合機能加工「トリプルフレッシュ®デオ」を施した製品の開発・販売に注力しております。

グループ全体では、経営管理体制の高度化を実現すべく、基幹システムの再構築や連結業績管理の精緻化に取り組んでおり、事業の成長に向けた土台づくりを着実に進めております。

現在、事業横断的なプロジェクトを立ち上げております。インテリア事業の持つデザイン力、自動車・車両内装事業のファブリック素材への加工技術、機能資材事業の消臭・抗菌・抗ウイルスといった高機能技術等、それぞれの事業分野が持つ強みを結集し、これからの空間に求められる次世代内装の開発に取り組んでおります。

当第1四半期における連結業績は、以下のとおりとなりました。

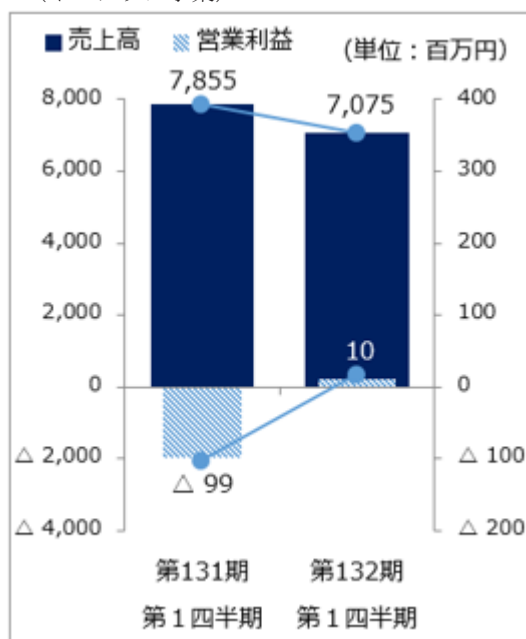


売上高は、世界的な経済鈍化の影響を受け国内外の自動車関連売上が大きく落ち込んだことが影響し、前年同期比32.5%減の155億55百万円、利益面では営業損失7億43百万円（前年同期営業利益2億91百万円）、経常損失8億25百万円（同 経常利益2億71百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失11億43百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメント	売上高		営業利益または営業損失 (△)	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
インテリア事業	7,075	△9.9	10	—
自動車・車両内装事業	7,801	△45.6	△271	—
機能資材事業	551	△30.7	△50	—
その他	126	+212.3	33	+53.5
小計	15,555	△32.5	△278	—
調整額	—	—	△465	—
合計	15,555	△32.5	△743	—

(インテリア事業)



ウェブ向けならびに店舗販売向けの家庭用カーペットが好調となったものの、新型コロナウイルスの影響でタイルカーペットの海外輸出や医療・福祉・教育施設向けカーテンが伸び悩み、売上高は前年同期比9.9%減の70億75百万円となりました。利益面では、高付加価値商材の構成比率の増加や販売費及び一般管理費の削減により、営業利益10百万円（前年同期 営業損失99百万円）となりました。

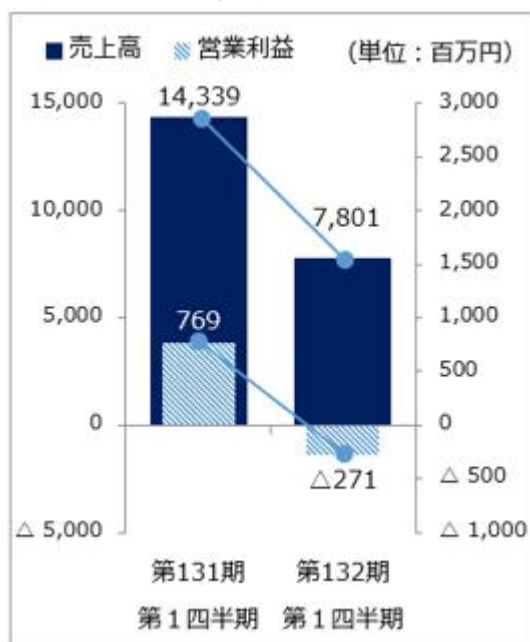
業務用カーペットのうち、ロールカーペットでは、大型案件を受注したことで売上が増加しました。また、タイルカーペットでは、国内向けは前年同期並みに推移しましたが、海外輸出がロックダウンによる経済活動への影響から低迷し、業務用カーペットの売上はほぼ前年同期並みとなりました。

家庭用カーペットの売上は、外出自粛によりウェブ向け販売が好調に推移したことや、自粛期間明けの消費の盛り返しによりホームセンター等の店舗販売が好調となったことで、同26.9%増となりました。

カーテンのうち、医療・福祉・教育施設向け「Face」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設への立ち入りが一時的に制限されたことで、新規受注や取り換え需要が減少しました。一般家庭向け「mode S® Vol.9」、「U Life® Vol.9」等は前年同期並みに推移しましたが、カーテン全体では同4.8%減となりました。

壁装関連は、新型コロナウイルス感染拡大による住宅の新築およびリフォームの減少や、店舗・ホテル物件の減少等が重なったことで、壁紙の売上が縮小し、売上は同19.2%減となりました。

## (自動車・車両内装事業)

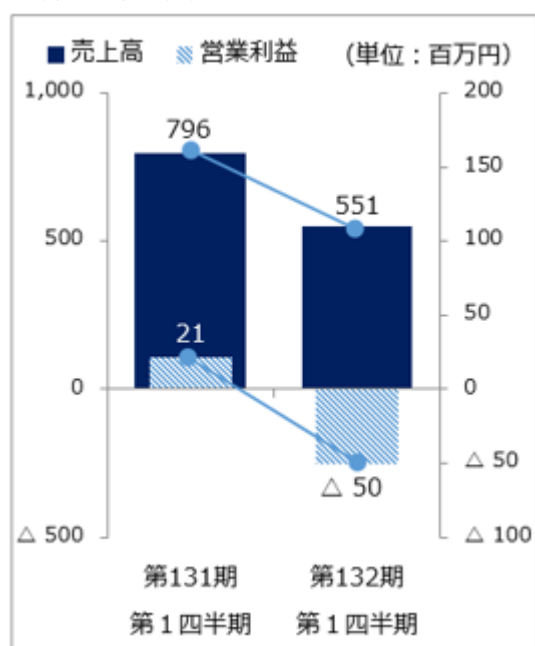


日系自動車メーカーのグローバル生産台数の低迷および鉄道・バスの内装材需要の減少を受け、売上高は前年同期比45.6%減の78億1百万円、利益面では営業損失2億71百万円（前年同期 営業利益7億69百万円）となりました。

自動車関連では、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞から日系自動車メーカーの生産台数が国内外ともに減少しました。6月以降、徐々に生産台数は戻りつつありますが正常化には至らず、国内の売上は前年同期比28.4%減となりました。また海外では、中国国内は他国に先駆けて景気回復がみられたものの前年同期比で売上は減少し、その他の米国、メキシコ、タイ、インドネシア、インドでも各地で生産が大きく縮小し、海外の売上は同59.6%減となりました。

車両関連では、外出自粛やテレワークの推進などにより公共交通機関の利用者数が減少したことで、鉄道内装の取り換え工事の計画に中止や延期が発生しました。またバスでは、国内旅行やインバウンドの大幅な縮小を受け、新車製造が減少し、車両関連全体での売上は前年同期を下回りました。

## (機能資材事業)



浴室床材が売上を伸ばしたものの、主力製品であるホットカーペットは、昨年の暖冬の影響で当期の新規受注が大きく減少しました。また、消臭フィルターや、ルーフィング材、土木用資材、航空機内装材等の売上が振るわなかったことにより、売上高は前年同期比30.7%減の5億51百万円、利益面では営業損失50百万円（前年同期 営業利益21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が増加したものの、売上債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ29億53百万円減少し、833億19百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金が増加したものの、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べ19億2百万円減少し、517億87百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ10億50百万円減少し、315億32百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは事業の成長と企業ガバナンスの再構築の2点に重きを置き、着実に取り組んでおります。抗菌・抗ウイルス機能加工商品の開発や、自社商品による環境負荷低減への取り組み、また、基幹システムの再構築による経営基盤の強化を図っており、ESG経営を念頭に置いた事業運営を行っております。

2021年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスが当社事業に与える影響の見極めが困難であることから引き続き発表を延期させていただき、今後の事業動向を合理的に算定可能になった時点で速やかに公表させていただきます。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,500	11,985
受取手形及び売掛金	14,502	12,330
電子記録債権	6,469	4,400
商品及び製品	10,422	10,520
仕掛品	1,669	1,499
原材料及び貯蔵品	2,847	3,212
その他	2,299	2,155
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	48,688	46,079
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,602	17,606
その他(純額)	9,858	9,659
有形固定資産合計	27,460	27,266
無形固定資産		
1,598	1,598	1,564
投資その他の資産		
投資有価証券	5,987	5,616
繰延税金資産	1,395	1,516
その他	1,299	1,433
貸倒引当金	△157	△157
投資その他の資産合計	8,525	8,408
固定資産合計	37,584	37,240
資産合計	86,272	83,319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,161	9,811
電子記録債務	5,135	3,281
短期借入金	10,858	10,425
未払法人税等	592	308
その他	4,120	4,084
流動負債合計	33,868	27,910
固定負債		
社債	1,500	1,500
長期借入金	7,825	11,923
繰延税金負債	332	312
役員退職慰労引当金	103	105
退職給付に係る負債	4,223	4,230
その他	5,837	5,805
固定負債合計	19,821	23,877
負債合計	53,690	51,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	10,452	9,213
自己株式	△4,017	△4,017
株主資本合計	18,641	17,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,434	1,594
繰延ヘッジ損益	2	△2
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	331	320
退職給付に係る調整累計額	△208	△198
その他の包括利益累計額合計	9,357	9,510
非支配株主持分	4,583	4,619
純資産合計	32,582	31,532
負債純資産合計	86,272	83,319

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
売上高	23,031	15,555
売上原価	18,385	12,367
売上総利益	4,645	3,187
販売費及び一般管理費	4,354	3,931
営業利益又は営業損失(△)	291	△743
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	36	36
不動産賃貸料	67	66
保険配当金	29	29
その他	24	71
営業外収益合計	161	209
営業外費用		
支払利息	73	59
持分法による投資損失	12	164
為替差損	37	47
不動産賃貸費用	9	8
その他	48	9
営業外費用合計	181	290
経常利益又は経常損失(△)	271	△825
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	543
特別利益合計	1	543
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
投資有価証券評価損	—	682
特別損失合計	0	684
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	272	△966
法人税、住民税及び事業税	216	139
法人税等調整額	△22	29
法人税等合計	194	169
四半期純利益又は四半期純損失(△)	77	△1,135
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	8
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46	△1,143

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	77	△1,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173	160
繰延ヘッジ損益	△0	△5
為替換算調整勘定	△231	26
退職給付に係る調整額	10	9
持分法適用会社に対する持分相当額	5	1
その他の包括利益合計	△42	191
四半期包括利益	35	△943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58	△991
非支配株主に係る四半期包括利益	94	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する見通しについて、重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)  
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,855	14,339	796	22,990	40	23,031	—	23,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	181	2	0	184	40	224	△224	—
計	8,036	14,341	797	23,175	80	23,255	△224	23,031
セグメント利益 又は損失(△)	△99	769	21	691	21	712	△421	291

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△421百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△428百万円が含まれております。  
全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)  
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,075	7,801	551	15,428	126	15,555	—	15,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	136	0	0	137	40	178	△178	—
計	7,212	7,802	551	15,566	166	15,733	△178	15,555
セグメント利益 又は損失(△)	10	△271	△50	△311	33	△278	△465	△743

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△465百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△470百万円が含まれております。  
全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。